

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

果樹カメムシ類の発生状況と防除の徹底について

県内の一部地点において果樹カメムシ類のフェロモントラップでの誘殺数が急増しています。また、一部の果樹園では、すでに果樹カメムシ類（特に、チャバナアオカメムシ、ツヤアオカメムシ等）の飛来がみられています。

本年は、本虫の餌となるヒノキ毬果が少ないことから、今後、例年より早く果樹園へ飛来し、被害が発生する恐れがあります。

については、下記事項を参考に防除対策を徹底してください。

記

1. 発生概況

- 1) 県内6地区に設置したフェロモントラップのうち、誘殺数が急増した地点がみられる（図1）。
- 2) 県内の一部果樹園においてカメムシ類の飛来が認められている。
- 3) 7月14～15日に県内13地点で行った、ヒノキ毬果の結実量調査では、結実がほとんどみられず、毬果が平年より少ないことから、今後、本虫が果樹園へ例年より早く飛来すると予想される。

2. 防除対策

- 1) 飛来状況は地域や園地により大きく異なる。このため、園内外をこまめに見回り早期発見・早期防除に努める。
- 2) カメムシ類は、果樹園へ侵入した後、集合フェロモンで同種を大量に誘引し被害を及ぼす。このため、果樹カメムシ類の果樹園への飛来を認めたら、初期防除を徹底する（表1）。
- 3) 薬剤散布の際には、周辺作物への飛散防止に努めるとともに、収穫前使用日数及び使用回数等の安全使用基準を遵守する。
- 4) 台風襲来・強風雨後は、風であおられたカメムシ類が果樹園に飛来する恐れがあるので十分に注意する。
- 5) 防風樹として植えられているスギ、ヒノキ、サンゴジュなどが結実していれば、結実部を刈り込む。
- 6) 果樹カメムシ類は樹高の高い樹木に一度飛来して、その後果樹園に飛来する傾向があるので、防風樹等は必要以上に高くないように剪除する。
- 7) 施設栽培では、開口部に防虫ネット（4ミリ目以下）を設置する。

8) 今後の発生状況については、農業技術防除センターが発表する果樹カメムシに関する情報(6~10月、「<http://www.pref.saga.lg.jp/web/boujo>」)を参考にする。

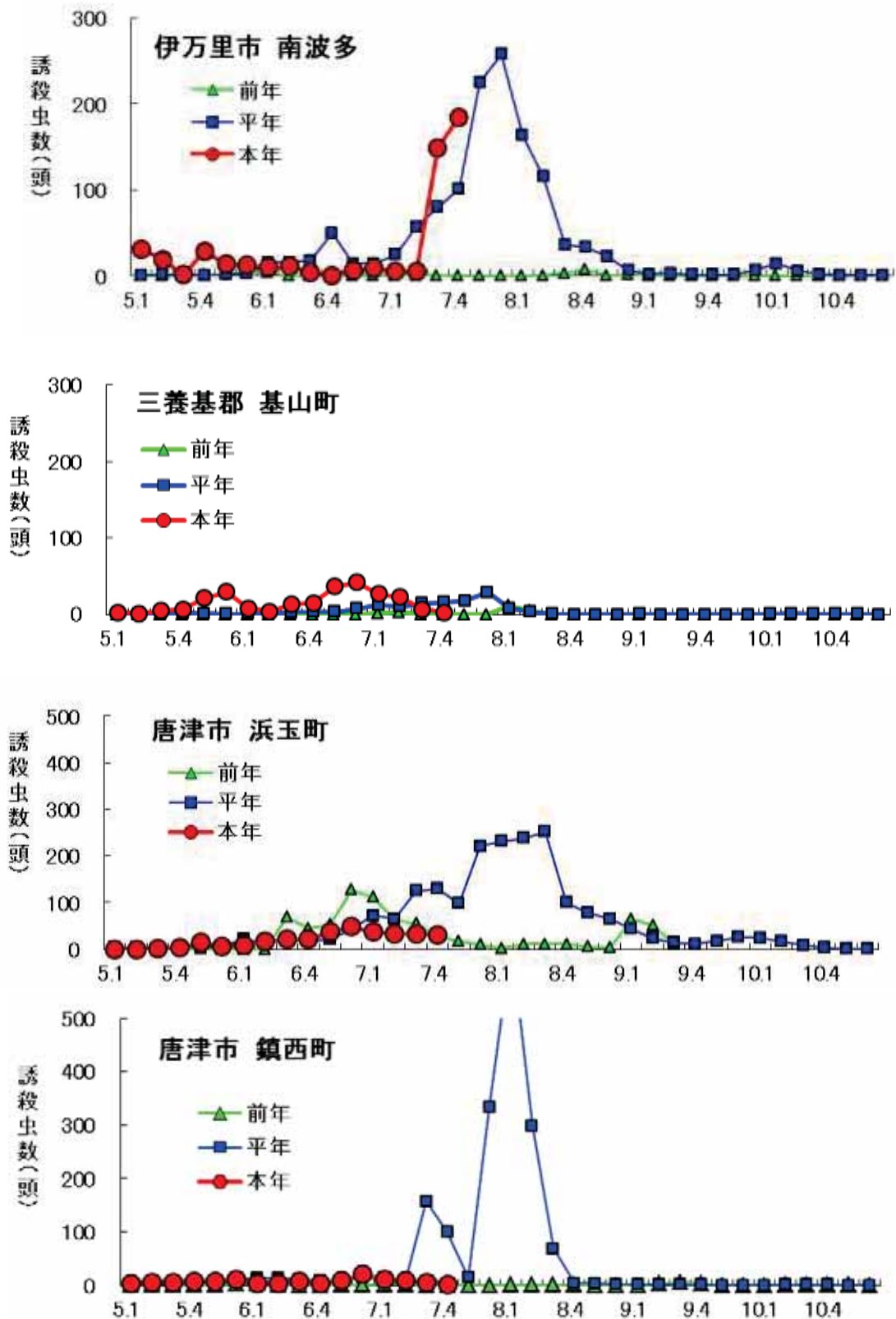


図1-1 フェロモントラップによる果樹カメムシ類の誘殺推移

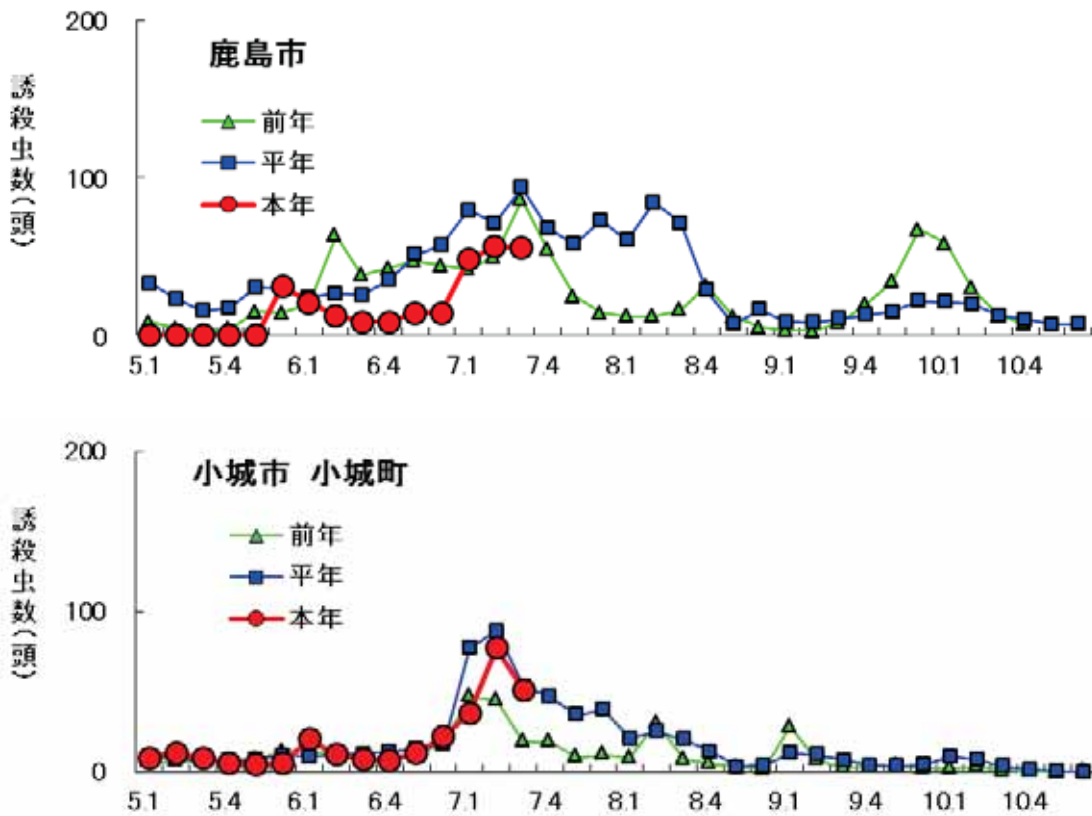


図1-2 フェロモントラップによる果樹カメムシ類の誘殺推移

表 1 果樹カメムシ類に登録のある主要薬剤

【カンキツ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数	備考
ネコ ノイト	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	かんきつ で登録
	アドマイヤーフロアブル	2000~5000倍	収穫14日前まで	3回以内	
	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	
合成ピレ スロイト	テルスター水和剤	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	かんきつ
	マブリック水和剤20	2000~4000倍	収穫45日前まで	2回以内	かんきつ (みかんを除く)
			収穫21日前まで		みかん
	MR. ジョーカー水和剤	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	かんきつ
ロディー乳剤	2000倍	収穫7日前まで	4回以内	かんきつ	

表1 続き

【ナシ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ピレスロイド*	アグロスリン水和剤	1000~2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
	スカウトフロアブル	1500 倍	収穫前日まで	5 回以内
	テルスター水和剤	1000~2000 倍	収穫前日まで	2 回以内
	MR. ジョーカー水和剤	2000 倍	収穫 14 日前まで	2 回以内
ネオニコチノイド*	アルバリン顆粒水溶剤	2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
	スタークル顆粒水溶剤			

【カキ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ピレスロイド*	アグロスリン水和剤	1000~2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
	テルスター水和剤	1000~2000 倍	収穫 14 日前まで	2 回以内
	MR. ジョーカー水和剤	2000 倍	収穫 14 日前まで	2 回以内
ネオニコチノイド*	アルバリン顆粒水溶剤	2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
	スタークル顆粒水溶剤			

【モモ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ピレスロイド*	アグロスリン水和剤	2000 倍	収穫前日まで	5 回以内
	テルスター水和剤	1000 倍	収穫 14 日前まで	2 回以内
ネオニコチノイド*	アルバリン顆粒水溶剤	2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
	スタークル顆粒水溶剤			

【ビワ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ピレスロイド*	テルスター水和剤	1000~2000 倍	収穫前日まで	2 回以内

【キウイフルーツ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ピレスロイド*	アディオオン乳剤	2000 倍	収穫 7 日前まで	5 回以内

【ブドウ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
ネオニコチノイド*	ダントツ水溶剤	2000~4000 倍	収穫前日まで	3 回以内
	スタークル顆粒水溶剤	2000 倍	収穫前日まで	3 回以内
	アルバリン顆粒水溶剤			

※ 登録は平成 27 年 7 月 23 日(木)現在。

※ 農薬を使用する際は、必ずラベルを読んで、使用できる作物であるか、使用濃度、使用量、使用時期は適切か、使用回数は定められた回数を超えていないか等を確認する。